

老人と障害者の自立のための

38th 国際福祉機器展 Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2011

会 期：2011（平成23）年10月5日（水）～7日（金）
会 場：東京ビッグサイト 東展示ホール（東京都江東区有明）
出展社数：約510社・団体（日本453社・団体、海外57社）
開場時間：午前10時～午後5時
入 場 料：無料（登録制：当日または事前）
主 催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

国際福祉機器展 H.C.R. は、介護・福祉機器の分野ではアジア最大、世界でもアメリカの Medtrade、ドイツの REHACARE に次ぐ規模の展示会です。

今年は、13か国・1地域から510社が出展し、高齢者・障害者が使いやすい食器・衣類から先端技術を積込んだ福祉車両や電動車いすなど約20,000点の機器が展示されます。

【開催内容】

- ①福祉機器約20,000点を総合展示
 - ②国際シンポジウム：「英国のキャメロン改革と社会保障」（6日）を開催。詳細を別掲。
 - ③ふくしのスキルアップ講座：院内感染予防、高齢者の住宅、社会福祉法人の会計など保健・福祉・介護をテーマに連日開催。詳細を別掲。
 - ④障害児のための「子ども広場」：子ども用福祉機器の展示に加え、子ども用の福祉機器相談・療育相談も実施。さらに今年は子ども用の福祉機器の開発に関わるセミナーを連日実施
 - ⑤ふくしの相談コーナー：福祉機器・自具などの相談コーナーを設置。
 - ⑥福祉機器開発最前線：研究・開発中の機器や新製品を紹介。
 - ⑦あるテク講座：携帯電話やタブレットPCなど身近にあるテクノロジーの福祉的利用方法について解説・実演。
 - ⑧高齢者の生活支援用品コーナー：高齢者の日々の生活を便利にするグッズや工夫がなされた製品を紹介。
 - ⑨ふくしの防災・避難用品コーナー：福祉施設向けの防災用品や被災地で役立つ福祉機器を紹介。
- その他、多彩なプログラムを実施。

※ プログラムは変更されることがあります。

最新情報と詳細はH.C.R. Web (<http://www.hcr.or.jp>) サイトでご確認ください。

【H.C.R. 2011 特設会場・子ども広場のご案内】

〈子ども用福祉機器の総合展示と療育・福祉機器相談、さらに子ども用福祉機器セミナーを開催〉

H.C.R. 2011 では、お子さんをつれた親たちが子ども用の福祉機器を探して出展社を回る労力を少しでも軽減させるため、東1ホールに特設会場「子ども広場」を設け、親子が参加して試せる子ども向けの福祉機器を総合展示いたします。あわせて子ども広場では、福祉機器の利用や療育についての相談コーナーや、保育士が常駐するひとやすみコーナーを設けます。

また、今年新たに子ども用福祉機器セミナーを設け、障害がある子どもが福祉機器に対しどんなニーズを持ち、それに対してどんな効果を求めて、どのような機器を作成したかを紹介いたします。

◇会場：「東1ホール特設会場B」

◇内容

①子ども用福祉機器セミナー

障害がある子どもにどんな福祉機器が必要なのでしょうか？車いすや食器など日常生活に関わる機器や用具だけでなく、遊具・スポーツ用品も必要になります。成長期にある子ども用の福祉機器は市販されているものだけでは子どもたちのニーズを満たすことができません。多くの相談を受けるリハビリテーションセンターなどでは自分の施設で機器をつくったり、メーカーと共同で新しい機器を開発したりすることも多くあります。

今回は横浜市リハビリテーションセンターにおいて、子どものニーズにそって作成した、釣竿や木のおもちゃ、動物の形をしたクッション、スキー、電動カートなどの事例を紹介します。

◇日時：①5日 15:30～16:30、②6日 15:30～16:30、③7日 15:30～16:30

②無料相談コーナー

相談内容：療育相談、福祉機器相談

③ひとやすみコーナー

保育士が常駐しています。広場のおもちゃを使って子どもたちと遊んだり、保護者(親)のみなさんと子育てについてお話しします。

④展示(常設)

親子が参加して試せる子ども向けの福祉機器を総合的に展示いたします。

- ・車いす
- ・バギー、歩行器
- ・いす、カーシート
- ・学習機器／コミュニケーション機器
- ・食事用具 食器／衣類 靴

(協力：横浜市リハビリテーションセンター、東京都社協保育士会)

【H. C. R. 2011 に展示される新製品のご案内】

国際福祉機器展 H. C. R. 2011 に出品予定の新製品の一部をご紹介します。

- ・パワーアシストハンド：LLPアトムプロジェクト 1-04-04
ベローズ機構を採用し、必要な指だけをリハビリできる安心・安全に配慮した機器です。
- ・ふるえ(本能性振戦)をおさえる上肢装具：青梅商工会議所 1-03-09
ふるえのせいで困難な食事や字を書くことなどの日常動作を支援する福祉機器です。心地よくフィットできるよう金属の曲線バンダー加工でつくりました。
- ・忘れナイト2：(株)カワムラサイクル 3-15-04
ブレーキのかけ忘れを防ぐ車いすです。常にブレーキがかかった状態で、押手レバーを握ると走行可能になります。
- ・シティ&ライド クローラー「クローラ」：(有)クエストエンジニアリング 3-15-06
タイヤ部分にゴムクローラーベルトを採用し、歩道の段差、荒れた路面でも安全に走行できます。傾斜路面でも直進性を維持できる運動センサーによる駆動制御を搭載しています。
- ・ボイスルーラー：五大エンボディ(株) 6-17-04
自分の声の大きさが目で見てわかる機器です。声の大きさを5つのランプで視覚的に把握できます。
- ・読み上げペン：五大エンボディ(株) 6-17-04
絵にタッチするだけで、音声を発するペンです。文章を読み上げることや音楽を再生することもできます。

- ・REL モジュール型電動車いす：(有)さいとう工房 2-14-04
多機能な電動車いすです。日本家屋の廊下でも旋回でき超小回り機能、5度の傾斜地も水平走行ができる機能、キャスターをあげて静かに段差を超える機能などを備えています。
- ・シャワー入浴装置 PAO：酒井医療㈱ 4-06-04
担架プレートに独自の工夫を施すことでミストをドーム全体に行きわたらせ背中まであたためる使いやすさを追求した入浴装置です。
- ・全方向電動駆動ユニット：(株)ミツバ 2-11-03
自由に全方向に移動ができる室内用の電動駆動ユニットです。キャスターと交換するだけで全方向への移動が電動になります。車いすだけでなく、台車などに取り付ければ、お年寄りが重い荷物を運ぶときに重宝します。
- ・電動アシストハンディカート：(株)ミツバ 2-11-03
衝突防止機能を搭載した電動アシスト式ショッピングカートです。
- ・SKT-5：(株)ミキ 3-21-02
小回りがきく、自走タイプの車いすです。6輪を採用し後方への転倒も防ぎます。
- ・施設向け引戸採風電気錠：(株)日本電子工業 5-11-11
換気をしながら施錠できます。地震や火災などの非常時は自動で一斉開錠でき、避難路を確保します。

この他にも、国際福祉機器展 H.C.R.2011 では、高齢者や障害がある方と子の生活を支えるさまざまな機器の展示やセミナーが開催されます。

※記載のプログラムは諸事情により変更される可能性があります。ご来場の際はWeb サイトで最新情報をご確認ください。

<p>H.C.R. 2011 事務局 (財)保健福祉広報協会 〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5F TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798 http : //www.hcr.or.jp</p> <p>※10月3日(水)～7日(金)の間は東京ビッグサイト内に 展示会の本部事務局を開設いたします TEL 03-5530-1180 FAX 03-5530-1601</p>
